

B-11

出展団体名	茨城県農業総合センター園芸研究所	
発表者所属	野菜研究室	
発表者氏名	中原正一	
発表タイトル	高付加価値野菜を生産できる毛管水耕技術	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し <input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し <input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し <input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し <input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	①閉鎖型養液栽培	②毛管水耕
	③高糖度トマト	④根付きレタス
要 旨（アピールポイント）		
<p>茨城県農業総合センター園芸研究所では、『A：高糖度トマト生産のための毛管水耕法』と『B：果菜類苗や葉菜類栽培のためのマット給液法』を技術シーズとして構築しています。</p> <p>『A』は、シクラメンなどの鉢花生産に用いられている底面給液技術(毛管水耕)をベースに、当所で考案した【培地バッグ技術¹⁾】を組み合わせた排液が生じない閉鎖型養液栽培技術です。この技術によって、品質の安定した高糖度トマトを、誰でも簡単に生産することができます。</p> <p>『B』は、マット給液栽培での、作物の生育を均一化させるための技術です。従来のマット給液栽培では、マット上の位置によって生育が不揃いになりやすかったのですが、当所で考案した【液肥循環技術²⁾】を導入することによって、この問題を解決することができます。また、当所では、この技術の付加価値を高めるため、『少量培地で長期間育苗した果菜類苗』や「根付きで出荷できるリーフレタス」など、技術の特徴を生かしたオリジナル商品の開発に取り組んでいます。</p> <p>当所では、これらの技術シーズを農業振興のために広くご利用頂きたいと考えており、実用的な栽培プラントとして構築・商品化して頂けるパートナーを探しています。</p>		
特記欄	1) 特願2002-371586（培地バッグとそれを用いた養液栽培方法） 2) 特願2006-132600（養液栽培装置及び方法）	